

## 「道後アート2023」のクラフトミュージアムで 「DIRECTOR'S MARKET」に参加する クリエイターと施設が決まりました

日本最古といわれる道後温泉では、本館保存修理後期工事期間に合わせ「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」を令和6年3月までの3年間で実施しています。最終年は、令和5年4月14日(金曜日)から「道後アート2023」を開催します。

プログラムの一つ、クラフトミュージアム「DIRECTOR'S MARKET」は、クリエイターが企画や演出し、道後温泉地区の旅館やホテル、商店街の一角にポップアップショップを設け、工芸品などを扱います。

参加する5組のクリエイターと施設が決定しました。



「道後アート2023」ポスター

### DIRECTOR'S MARKET

#### 参加クリエイター

	クリエイター ※五十音順	施設
旅館 ホテル	作原文子 (さくはら ふみこ)	道後御湯 ●道後鷺谷町2-20
	篠原ともえ (しのはら ともえ)	ホテル古湧園 遥 ●道後鷺谷町1-1
	清家未来 (せいけ みらい)	茶玻璃 ●道後湯月町4-4
	鳥羽周作 (とば しゅうさく)	大和屋本店 ●道後湯之町20-8
商店街	大竹彩子 (おおたけ さいこ) 大竹笙子 (おおたけ しょうこ)	伊織 本店 ●道後湯之町20-21 道後商店街アーケード内

## クラフトミュージアム

【期間】令和5年7月～令和6年2月29日(木曜日)

【内容】

### ①「DIRECTOR'S MARKET」

道後温泉地区の旅館やホテルのロビー空間と商店街の店舗などの一角にポップアップショップを設け、5組のクリエイターがそれぞれ企画や演出し、工芸品などを取り扱います。

### ②「U.F.O.-Unidentified Fabulous Object-未確認工芸物体」展

「用の美」と称えられる豊かな日本の工芸分野から、技術と制作の背景や視点のいずれにおいても、さらに秀でた芸術性のある作品を見出して展示し、工芸の未来を見据えます。「DIRECTOR'S MARKET」と同じ場所で開催します。

## 「道後アート2023」の概要

【名 称】道後アート2023 (どうご あーと にせんにじゅうさん)

【テーマ】アート&クラフト(あーと あんど くらふと)

【会 期】令和5年4月14日(金曜日)～令和6年2月29日(木曜日)

【場 所】道後温泉地区

【主 催】未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会

【企画プロデュース】スパイラル/株式会社ワコールアートセンター

## 取材対応、問い合わせについて

クリエイターへの直接の取材はお控えください。

取材の申し込みは、未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会事務局(松山市役所道後温泉事務所内)に連絡してください。または下記の広報窓口にご連絡してください。

【公式ホームページ】<https://dogoonsenart.com>

※新型コロナウイルス感染症の状況により、プログラム内容が変更になる場合があります。

【本件に関するお問い合わせ】

未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会事務局(松山市道後温泉事務所内)

担当:菅、徳岡、清水、岡田

TEL:089-921-0101 / FAX:089-934-3415 / MAIL:dogojimu@city.matsuyama.ehime.jp



公式HP

【 広報窓口 】

株式会社NINO 担当: 清水

TEL:089-995-8783 / 080-6280-6970(問い合わせ時間:10:00-18:00/土・日曜・祝日以外)

MAIL:press@dogoonsenart.com

## 「DIRECTOR'S MARKET」参加クリエイター プロフィール

クリエイター	プロフィール
<p><b>作原 文子</b> 読み: さくはら ふみこ インテリアスタイリスト</p> 	<p>インテリアスタイリスト。 岩立通子氏のもとで、アシスタントを経験した後、1996年に独立。 主に雑誌、カタログ、TV-CM、エキシビション、ショップディスプレイ、映画美術などのスタイリングを中心に活動。手掛ける雑誌は「Casa BRUTUS」「Figaro Japon」「&amp;Premium」「BRUTUS」「Men's Non-No」などのインテリア誌、女性誌、男性誌と幅広く、日本のインテリアスタイリストとして第一線で活躍。柔軟な感性を活かし、さまざまなテイストをミックスした独自のスタイリングは、男性女性問わず定評がある。 「Found MUJI青山」、「INTERSECT BY LEXUS-TOKYO」のウィンドウディスプレイや、企業の展示会の空間ディレクションなども行う。自身の活動として“mountain morning”も展開。</p>
<p><b>篠原 ともえ</b> 読み: しのはら ともえ デザイナー／アーティスト</p> 	<p>1995年歌手デビュー。メディアでの活動と共にデザイナーとしても創作活動が続け、これまでに松任谷由実コンサートツアー、嵐ドームコンサートなど、アーティストのステージ衣装を手がける。2020年、夫でアートディレクターの池澤樹とクリエイティブスタジオ「STUDEO」を設立。以後チームとして、ブランド戦略のコンセプト構築から、コミュニケーションの設計、ビジュアル開発、空間デザインまで一気通貫した仕事を目指している。 2022年、デザイン・ディレクションを手掛けた革の着物が第101回ニューヨークADC賞（銀賞・銅賞）、東京ADC賞を受賞。</p>
<p><b>清家 未来</b> 読み: せいけ みらい SGSC店主／バイヤー</p> 	<p>松山市出身。 2022年2月に東京都狛江市にオープンしたセレクトショップ「STEEP GRADE SHARP CURVES」オーナー兼バイヤー。 アパレルメーカーを経て、大手セレクトショップに入社。 大手セレクトショップではバイヤーを務め、アートへの造詣が深い自身の強みを生かし、様々な企画や別注アイテムを手掛ける。 2017年に新たな環境を求めて同社を退社。 独立後はアパレル関連以外に今治タオル業界にも従事していたが、二足のワラジでは物足りなくなり、ショップをオープン。 ショップでは、愛媛の地場産品もセレクトし販売している。</p>
<p><b>鳥羽 周作</b> 読み: とば しゅうさく シェフ</p> 	<p>sio株式会社 / シズる株式会社 代表取締役。 Jリーグの練習生、小学校の教員を経て、31歳で料理の世界へ。 2018年「sio」をオープン。同店はミシュランガイド東京2020から4年連続一つ星を獲得。 現在、「sio」「Hotel's」「o/sio」「o/sio FUKUOKA」「パーラー大箸」「髭つね」「ザ・ニューワールド」「おいしいパスタ」と8店舗を展開。 書籍/YouTube/SNSなどで公開するレシピや、フードプロデュースなど、レストランの枠を超えて様々な手段で「おいしい」を届けている。 モットーは『幸せの分母を増やす』。</p>
<p><b>大竹 彩子</b> 読み: おおたけ さいこ アーティスト</p> <p><b>大竹 笙子</b> 読み: おおたけ しょうこ アーティスト</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">©Masato Kawamura</p>	<p>大竹彩子(写真:左) 1988年生まれ。宇和島市出身。2016年ロンドン芸術大学を卒業後、絵画、写真、壁画制作など東京を拠点に活動。さまざまな場所を訪れ撮影してきた写真本は現在までに15冊出版。</p> <p>大竹笙子(写真:右) 1993年生まれ。宇和島市出身。2017年ロンドン芸術大学テキスタイル学科卒業。日常で目にした情景を版画やドローイングなど様々な技法を用いて具現化する。本の挿画やファッションのテキスタイルにも作品を提供しており、作品集に『DUMBELL KUMBELL I, II, III』がある。</p>